

人権・平和・環境

あしだがわ

発行
 南部ブロック社会教育センター
 福山市水呑町4748
 (水上スポーツセンター内)
 TEL 956-4641
 FAX 956-6070

【公民館】	泉 951-1557	熊野 959-0001	内浦 986-3535	山手 951-5679
	山手 951-9381	水呑 956-3943	常石 987-3839	瀬戸 951-1809
	津之郷 951-1002	高島 956-0219	千年 987-3188	鞆 982-1882
	赤坂 951-1001	鞆 982-2664	山南 988-1981	熊野 959-0943
	瀬戸 951-1003	走島 984-2550	能登原 987-4460	能登原 987-2559
	明王台 952-3511	内海 986-3722		

E-mail:nanbu-shakyou@city.fukuyama.hiroshima.jp
 福山市ホームページ (URL:<http://www.city.fukuyama.hiroshima.jp/>) からキーワード「あしだがわ」で検索

なんぶ しやかいきょういくかつどうじぎょう ほうこく
 《南部ブロック社会教育活動事業 報告》



1月31日(土), 海風が強く, とても寒い中「冬の芦田川バードウォッチング」を行いました。50人の参加者は日本鳥類保護連盟会員の講師3人の引率で, 芦田川河口付近および竹ヶ端運動公園内を3グループに分かれて観察しました。

水上スポーツセンター前にはカワウ。また, 鳥類ではありませんが, ヌートリアの姿を発見! 巣も確認しました。河口堰に向かって歩いていくとカイツブリやカモ・サギの仲間に出会いました。この辺りではホシハジロ(海ガモの仲間)が一番多いそうです。冬は日本で過ごし, 春になるとシベリアへ渡る冬鳥です。6~7年前には600羽ぐらいだったのが, 年々数が少なくなってきたようです。



ふゆ あしだ がわ 冬の芦田川 バードウォッチング 2009

上空を見上げるとミサゴ(タカの仲間)がいました。高いところからえさを見つけると水中にダイビングして, 魚を捕らえるのだそうです。参加者は持ってきた双眼鏡を覗きながら, 講師の説明に熱心に耳を傾けていました。鳥のいるポイントでは講師が望遠鏡を据えて交代で覗くのですが, 鳥が移動してしまったり, なかなか見えなかったりしました。はっきり, きれいに見えた時は感動です。今年もミコアイサ(通称パンダガモ)が確認できました。オスは白地に目の周りが黒くパンダのようで人気者です。



河口堰の手前からは運動公園内に入り, 里の鳥を探しました。ハクセキレイやジョウビタキ・メジロなどの鳥を見ることができました。最後にスタート地点へ戻って, みんなで鳥合わせをしました。1月に入ってから芦田川の野鳥の数が少ないようでしたが, 24種類の鳥が確認できました。去年は33種類でしたので, 少なくなっているようです。また, 講師からはこの時期に巣箱をつけると巣作りをすること, 鳥のいる穴はシジュウカラなら28mm, スズメなら30mmにすると入ることなどを教えていただきました。

毎年, 多くの野鳥が来るような芦田川に!!
 自然環境や生物についてみなさんに興味を持ってもらおう, これからも取り組んでいきます。